

桑名JC

[三重]

「明るい豊かな社会」の実現を 目指して、現役とともに邁進

桑名

JCは、1952年に志
高き青年が集い、認証番
号34番の三重県内最初のLOMとして
創立され、現在に至るまで、「明るい
豊かな社会」の実現に向けて地域の先
頭に立って、活動を続けております。

桑名は古くは東海道五十三次の42
番目の宿場町として栄え、全国有数
の生産量を誇る鋳物工業のまちとし
て知られる一方、食においては、木曾
三川(揖斐川・長良川・木曾川)の下流
域という恵まれた漁場から獲れるハマ
グリが有名な歴史と伝統を誇るまち
です。現在は、名古屋のベッドタウンと
しての開発が進み、人口は約14万人で、
当LOMのメンバーは60名であります。

私たちシニアクラブと現役メンバーと
の交流も活発で、特に、じゃがいもクラ
ブにおいては年2回のコンペの他、隣接
する四日市JC、大垣JCともそれぞ
れ対抗戦を行い、他LOMのシニア・現
役との交流も積極的に取り組んでおります。

本年度は、松岡幸二理事長が掲げる
「Catch the Wave」チャンスを見
逃すな」のスローガンの下、メンバー
全員が一致団結して、JC活動に邁進
しております。全国的にメンバー数が減
少傾向にあるようですが、桑名JCも
例外ではありません。しかし、「量より
質」。この言葉のように少数精鋭で、今
の日本を青年の力でよりよい方向に導
いていくことを期待しております。

現役時代の活動を懐かしむOB会員
(2002年50周年記念式典にて)



じゃがいもクラブでの一コマ(伊藤
OB会長、小谷中と現役メンバー)

また、日々、一生懸命活動を続け
ている現役メンバーに対して、私を含
めた多くのシニアメンバーが協力を惜
まず、支援をしていきたいと思っ
ております。皆様のおかげをもちま
して、来年には創立55周年を迎えるこ
ととなります。これからも1952年
に大先輩が目的とした「明るい豊かな
社会」の実現を目指して、現役・シニ
アとともに頑張っていきたいものです。

日本JCシニア・クラブ
三重ブロック担当幹事 小谷中 剛



現役とともに100%例会達成を祝う(2005年12月忘年会にて)



じゃがいもクラブでの一コマ(懇親会にて現役と交流)